

献呈の辞

このたび、藤原孝教授が、ご壮健のうちにめでたく古稀を迎えられます。

そこで、藤原先生の古稀をお祝い申し上げ、先生のご指導を仰ぎ、その学問的・人格的影響を受けました同学の士、研究者、同僚、さらに弟子たちが集って、専門の論稿を編集いたしました古稀記念論文集『政治思想と社会科学をめぐる諸問題』を、ここに謹んで献呈させていただきます。

藤原孝先生は、一九六八年三月に日本大学法学部法律学科をご卒業され、山陽新聞社にご就職された後、七一年四月に日本大学大学院法学研究科政治学専攻にご進学され、七三年三月に同専攻課程をご修了されました。その後、本学文学部、法学部の非常勤講師を務められ、七九年四月から本学国際関係学部の専任講師、八一年四月から同学部助教授に昇格されました。

そして、八六年四月に法学部助教授となられ、九〇年二月から現在にいたるまで教授として本学部の発展に大きな貢献を果たされました。先生の薫陶を受けた教え子たちは、研究者となり、また社会人として、大いに活躍の場を広げております。

この間、ご専門の西欧政治思想史の研究・教育を精力的に進められる一方、本学部の学務担当、大学院担当、日本大学評議員、そして本学部図書館長などを歴任され、大学行政の重責を担われました。

学会においても、日本政治学会理事・常務理事、日本選挙学会理事、政治思想学会監事・理事、日本学術会議政治

学研究連絡委員などを歴任され、大きな足跡を残されています。

先生の学問的ご関心の焦点はフランス初期社会主義、わけでもサン・シモン研究であり、この領域は政治学的アプローチとしては、先生が初めて開拓された分野として特筆に値するものです。また、この核となる研究分野と並んで、先生は現代政治理論、具体的にはアイデンティティ論、シティズンシップ論などにもご関心を拡大され、多くの研究業績を残されています。

普段の先生は、厳しい中にも慈愛に満ちた態度で、われわれ後進を見守って下さっています。先生の学問的誠実さに接し、われわれは常に襟を正し、研究者として、人間として誠実に生きることが自省しております。また、宴席での先生も魅力的で、掛け替えのない経験を残してくださいました。

先生はまだまだご壮健です。これから、われわれを導いてくださいますよう、また学問的なご指導を賜りますようお願いしております。

この論文集には、政治学を中核として、社会科学の多様なアプローチが展開されております。社会科学界にたいする一定の貢献が果たされたものと確信しております。ご寄稿いただいた諸先生方に改めて御礼申し上げますとともに、さまざまな段階でご協力をいただいた研究事務課をはじめ、職員の方々にも厚く御礼申し上げます。

平成二十七年九月吉日

日本大学法学部長 池村正道